

木曾養護学校 学校評価に関するアンケート 58 機関

今年度の木曾養護学校のセンター的機能の充実、地域化について、あてはまる記号に○をしてください。

	設 問	A	B	C	D
1	特別支援の必要な子どもたちの教育について、気軽に相談でき、役立つ存在になっていましたか？	41	12	2	
2	特別支援教育に関わる教材教具や、個別検査、必要な人材などについて提供できましたか？	28	21	1	
3	個別の相談（園児・児童生徒、保護者、担任との相談）は迅速に対応できましたか？	38	15	2	
4	教育相談は、ニーズに合った相談が行われましたか？	30	20	1	
5	諸検査実施後の検査報告は、支援に生かせる具体的な内容が示されていましたか？	30	18	1	
6	地域に向けて、特別支援教育についての様々な情報提供ができていましたか？	24	28	6	
7	特別支援教育について、ニーズに合った研修を広く提供できましたか？	29	19	4	
8	障害児の教育、福祉に関わる関係機関、関係者の方々と絶えず連携を持ち、深めようとしていましたか？	40	15	3	

今後、木曾養護学校に望むことは何ですか？ 3つ選んで○をしてください。

a	個別の相談（児童生徒、保護者、担任との相談）に迅速に対応してほしい。	22
b	検査を行い、検査結果から日常への活用の仕方を具体的に教えてほしい。	24
c	継続的、または定期的な相談を行ってほしい。	31
d	相談できる機関を教えてほしい。	4
e	支援会議の持ち方等、支援（相談）の体制の作り方を教えてほしい。	6
f	支援会議に参加して欲しい。	9
g	職員研修等の研修支援をしてほしい。	20
h	きそようネットワーク（本校情報発信文書）や木曾養護学校ホームページを充実させてほしい。	3
i	研修会、学習会等の場（機会）を提供してほしい。	10
j	障害児の教育、福祉に関わる関係機関、関係者の方々と絶えず連携を持ち、深めようとしてほしい。	21
k	特別支援教育連携協議会の充実をしてほしい。	6
l	公開参観日を増やしてほしい。	0
m	その他（居住地校として、木曾養在籍児と本校該当担任が情報交換できるような関係作りを行ってほしい。）	9

考察

・設問では、「A・そう思う」「B・だいたいそう思う」という回答が多くなっている。今年度進めてきたセンター的機能について、肯定的にとらえていただいたと考えられる。特に、「気軽に相談できたか」「各機関と連携を持ち、深めていたか」という設問に対しては、高く評価していただいた。来年度以降も今年度同様の体制を組めるように努め、支援していられるようにしていきたい。背景には、関係者の方々の確実な情報提供、理解ある受け入れがあったことも見逃せない。本校への希望として一番多く回答があったのは、連携を深めていくことである。互いの良さに学び合いながら、個の育ちに向け、手を携えていきたいものである。

今後望むこと

・継続的な相談や検査結果を生かした日常生活への活用、研修、関係機関との連携を望む声が多い。センター的機能をより充実させる取り組みを今後も続けていきたい。

木曾養護学校のセンター的機能、地域化についてご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

- ・卒業後の相談支援について一定のルール作りをしていただきたい。
- ・通常学級にいる発達障害を持つ児童について小グループで学べる研修会があるとよいと思う。
- ・木曾町には十分対応いただいている。人が変わっても同じようにお願いしたい。
- ・生徒の実習先としてかかわらせていただき卒業後の入所お世話になりました。引き継ぎやアフターフォローなど丁寧に対応していただきました。
- ・当市から通学されている生徒さんの支援会議でお世話になりました。非常に丁寧に生徒や保護者とかかわっていると感じました。
- ・木曾養護は地域にとって不可欠な存在で町村教委にとっても貴重な存在だ。今後は木曾養護で人材を育て育った人材が異動先で力を発揮しキーパーソンとなっていくことができるように、また町村の自立を促す支援を一層推進していただきたい。
- ・今年度本校では小学校との連携のあり方やその充実が課題でした。小中各校でなく小中一緒に支援体制や地域の実情、課題解決の対応など協議する機会が必要と考えています。
- ・センター的機能の充実にはコーディネーターお一人でというよりチームでという段階にきているのではないか。それほど郡内の要請が多様化しているので。
- ・研修に講師をお願いし特別支援教育について理解が深まった。また支援が必要な児童へのアドバイスや検査結果に基づいた支援の方法を具体的に教えていただき生かすことができた。
- ・個別のケースや内容によっては行政との意見交換とは別に実際にサービスを実施する事業者との情報交換の場が必要であると考えます。
- ・本校と貴校との交流や学校訪問で関係が深まり本校の特別支援教育の充実にと相談機能の向上に役立った。今後さらに市教委との連携を密にさせていただきセンター的機能を充実したものにさせていただけるとありがたい。
- ・特別支援教育の中核として木曾養護学校の役割は本当に大きく地域からの期待も大変大きなものです。反面学校内の連携においては改善すべき点もあるように感じますのでご検討いただければと思います。
- ・評価を客観的に行い指導計画も大変効果が出ていると思いますが、高等部については疑問を感じます。
- ・地域の特別支援学級の指導方法に差がある。地域の学校への支援を望む。
- ・高等部と保護者との連携はうまくとれているか。
- ・寄宿舍があることで生活リズムの立て直し等大変ありがたいと思いますが学校での対応と寄宿舍での対応等連携はうまくとれていますか。
- ・貴校から本市まで遠距離にあることから通学手段として本市在住の児童生徒について保護者による送迎やJRとスクールバスを併用させていただいております。しかし障害特性等により自ら公共交通機関を利用できない児童生徒さんもおられますので、スクールバスの運行拡大について実現をお願いします。
- ・教育相談諸検査等大変お世話になっています。特別支援教育の多様なニーズに応えるため今後とも支援体制の構築 職員の研修をはかっていきたい。
- ・木曾養護学校における客観的な評価それに基づく個別の支援計画学習とても成果を上げていると思います。地域の学校でもそうした取り組みを期待したい。センター的機能として地域の特別支援学級への指導支援
- ・高等部の保護者との連携は小中学部のようにスムーズにしているのか。寄宿舍があることで生活指導などの事でとても効果が出ていると思います。寄宿舍と学校との連携もお願いします。
- ・小規模校で特別支援教育の専門家が不在なの体制なので専門的なご意見アドバイスをいただけ支援に生かすことができました。居住地校交流を今後も進めて行きたい。
- ・11月の懇談会では大変お世話になりました。インクルーシブ教育の拠点として今後ともたくさんの事を学ばせていただきたいと思います。
- ・日頃は特別支援教育に関して木曾地域のセンター的存在としてご尽力いただいていることに感謝申し上げます。木曾の障害児、者は木曾養護学校が中心となっていくことが大切であると考えています。他校地域と連携を密にしながら今後とも宜しくお願いします。